玄海地域原子力防災協議会作業部会　関係機関一覧

内閣府
佐賀県
佐賀県警察本部
長崎県
長崎県警察本部
福岡県
福岡県警察本部
海上保安庁
防衛省
原子力規制庁
経済産業省　　等

≪オブザーバー≫
佐賀県玄海町
佐賀県唐津市
佐賀県伊万里市
長崎県松浦市
長崎県佐世保市
長崎県平戸市
長崎県壱岐市
福岡県糸島市

九州電力（株）　　等

資料１

令和元年度佐賀県原子力防災訓練実施概要

１　目的等

ア　目的

原子力災害の特殊性に鑑み、国と連携して、佐賀県・玄海町・唐津市・伊万里市の地域防災計画（原子力災害対策編）及び「玄海地域の緊急時対応」等に基づき、防災業務関係者の防災対策に対する習熟及び防災関係機関相互の連携協力体制の強化並びに地域住民の原子力防災意識の向上を図る。

イ　日時・場所

日時：令和元年 11 月 30 日（土）　※長崎県及び福岡県も同日開催

場所：県内全域

ウ　主催

佐賀県、玄海町、唐津市、伊万里市

２　参加機関

内閣府、原子力規制庁（玄海原子力規制事務所）、気象庁（佐賀地方気象台）、警察庁（九州管区警察局）、国土交通省（九州運輸局佐賀運輸支局、九州地方整備局）、陸上自衛隊（西部方面総監部、西部方面システム通信群、第四師団司令部、西部方面混成団本部、第四特殊武器防護隊）、海上自衛隊（佐世保地方総監部）、航空自衛隊（西部航空方面隊司令部）、自衛隊佐賀地方協力本部、海上保安庁（唐津海上保安部）、県内全市町、佐賀県警察本部、唐津市消防本部、伊万里・有田消防本部、福岡県、長崎県、西日本電信電話株式会社、株式会社ドコモＣＳ九州、ＫＤＤＩ株式会社、ソフトバンク株式会社、九州電力株式会社、一般社団法人佐賀県バス・タクシー協会、公益社団法人佐賀県トラック協会、佐賀県旅客船協会、佐賀県水難救済会、佐賀県防災士会、一般社団法人佐賀県医師会、日本赤十字社佐賀県支部、唐津赤十字病院、国立大学法人長崎大学、地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館、佐賀大学医学部附属病院、一般社団法人佐賀県放射線技師会、玄海町消防団、唐津市消防団、伊万里市消防団、一般社団法人佐賀県聴覚障害者協会、佐賀県聴覚障害者サポートセンター、佐賀県手話の会連絡協議会、佐賀県難病相談支援センター、佐賀県老人福祉施設協議会、特別養護老人ホーム玄海園、特別養護老人ホーム宝寿荘、特別養護老人ホーム鳳寿苑、障害者支援施設からつ学園、あやめ荘、障害者支援施設富士学園、ＦＭからつ株式会社、日本放送協会佐賀放送局、佐賀県ケーブルテレビ協議会、その他関係機関（順不同）

３　訓練想定

佐賀県内で発生した地震により、各関係機関は警戒体制を構築していた。その後、通常運転中の玄海原子力発電所４号機において、原子炉冷却材の漏えいが発生したため、緊急負荷降下後、原子炉を手動停止した。

原子炉停止後、非常用炉心冷却装置が作動したが、全ての交流動力電源が失われる事象などが発生し、炉心を冷却する全ての機能を喪失し、全面緊急事態となる。

４　訓練項目及び内容

（１）災害対策本部等設置運営訓練

○県、玄海町、唐津市及び伊万里市による災害対策本部等の設置及び運営

○災害対策本部会議の開催

（２）緊急時通報連絡・情報伝達訓練

○原子力事業者からの事故等に関する情報について、国、県、市町、原子力事業者等による相互の通報連絡及び収受

○各種情報（モニタリング結果、気象情報等）の関係機関への情報伝達

○テレビ会議システムを活用した国、佐賀県、長崎県、福岡県、関係市町による防護措置等に関する情報伝達

○防災業務関係者等への防護措置等に関する情報の連絡

○報道機関への避難指示等の報道要請

○ヘリテレ伝送システムを活用した被災状況の映像伝送

（３）屋内退避訓練

○訓練前日までのＵＰＺ内の幼稚園、保育所、学校、福祉施設、医療機関等における屋内退避

○訓練当日の放射線防護施設における屋内退避

（特別養護老人ホーム玄海園、特別養護老人ホーム宝寿荘、特別養護老人ホーム潮荘、高齢者生活福祉センターちんぜい荘、高齢者生活福祉センターひぜん荘、旧加部島小学校、入野小学校向島分校、馬渡小中学校、馬渡原子力災害屋内退避施設、加唐小学校松島分校、加唐小中学校、小川小中学校、唐津市呼子交流促進施設、神集島公民館、旧神集島小学校、高島公民館、高島原子力災害屋内退避施設）

（４）一般住民避難訓練

○ＰＡＺ内住民の避難及びＵＰＺ内特定地域の住民の一時移転

○佐賀県バス・タクシー協会との協定に基づき確保する車両による避難

○地震により自宅が損壊し、自宅での屋内退避が困難となった状況を想定した、近隣避難所への屋内退避

○地震発生及び渋滞により、予定している避難経路が通行困難となった状況を想定した、避難経路の変更

○避難所設置・運営訓練

今年度訓練の避難地区及び避難先

玄海町	(PAZ)	石田地区	→	小城中学校（小城市）
	(UPZ)	座川内地区	→	〃
唐津市	(PAZ)	鎮西町串地区	→	江北町公民館（江北町）
	(UPZ)	肥前町高串地区	→	〃
伊万里市	(UPZ)	大川内地区	→	塩田小学校（嬉野市）
		松浦町	→	〃
		二里町	→	〃

（５）離島住民避難訓練

陸上自衛隊ヘリ、海上自衛隊船舶、海上保安庁船舶、水難救済会船舶、佐賀県旅客船協会との協定に基づく船舶による離島住民の避難

今年度の離島避難訓練

唐津市　馬渡島　→　海自護衛艦甲板（陸自ヘリ２機）

→　唐津東港（海保、水難救済会、旅客船協会の船舶３隻）

（６）小・中学校の児童の引渡し及び避難訓練

小・中学校における児童の保護者への引渡し及び避難

今年度訓練を実施する小・中学校

玄海町（UPZ）玄海みらい学園　→　小城中学校（小城市）

（７）保育所の園児の引渡し及び避難訓練

保育所における園児の保護者への引渡し及び避難

今年度訓練を実施する保育所

玄海町（PAZ）ふたば園　→　小城中学校（小城市）

（UPZ）あおば園　→　〃

（８）高齢者福祉施設の入所者等の屋内退避訓練及び避難訓練

○高齢者福祉施設の入所者の屋内退避訓練及び避難訓練（宝寿荘）

○自施設の入居者の屋内退避訓練（玄海園）

今年度訓練を実施する高齢者福祉施設

玄海町（PAZ）玄海園　…　屋内退避

唐津市（PAZ）宝寿荘　…　屋内退避後、鳳寿苑（小城市）へ避難

（９）障害者（児）福祉施設の入所者の避難訓練

障害者（児）福祉施設の入所者の避難訓練

今年度訓練を実施する障害者（児）福祉施設
唐津市（UPZ）からつ学園　→　富士学園（佐賀市）
唐津市（UPZ）あやめ荘　　→　城南中学校（佐賀市）

（１０）在宅避難行動要支援者避難訓練

○施設敷地緊急事態要避難者のうち避難により健康リスクが高まる者の避難誘導
○放射線防護対策施設における上記の者の受入

（１１）緊急時モニタリング訓練

○佐賀県緊急時モニタリング本部の設置運営
○緊急時モニタリング（固定・可搬・電子線量計）の実施
○緊急時モニタリング結果の関係機関等への情報提供

（１２）原子力災害医療対策訓練

○避難退域時検査訓練
【運営及び対応訓練】（歴史と文化の森公園隣接駐車場）
・検査体制の構築
・車両・住民等の汚染検査・除染等の実施等
【住民周知】（多久市陸上競技場、杵藤クリーンセンター）
・ゲート型モニタによる避難車両の汚染検査（通過体験）
・避難退域時検査の意義の説明、資機材の展示等
○被ばく傷病者等受入訓練
・被ばく傷病者等の原子力災害拠点病院（唐津赤十字病院、好生館）への搬送
・原子力災害拠点病院における処置
○避難指示が出された住民に対する安定ヨウ素剤の配布訓練
・各緊急配布場所における安定ヨウ素剤の緊急配布

（１３）公安対策訓練

○県警による避難誘導訓練
○県警による交通規制訓練
○県警及び海上保安庁による立入規制訓練
○県警による警戒警備訓練

（１４）救援物資搬送訓練

○放射性物質放出後にＰＡＺ内で屋内退避を実施している放射線防護対策施設（特養玄海園）への自衛隊による救援物資搬送訓練
○避難所（江北町公民館）へのトラック協会による救援物資搬送訓練

（１５）住民等に対する広報訓練

○地域住民等への広報（緊急速報メール（エリアメール）日本語版・英語版、防災行政無線、広報車、船舶、ＦＭラジオ、ＣＡＴＶ、ホームページ等）
○外国人居住者及び外国人観光客への情報伝達

（１６）原子力発電所における緊急時対策訓練

〇対策本部運営訓練

〇通報連絡訓練

〇警備・避難誘導訓練

〇事故収束訓練

〇海水・陸土モニタリング訓練

〇火災対応訓練

資料２

令和元年１１月１４日

長崎県　危機管理課

令和年度　長崎県原子力防災訓練

１．訓練概要

〇日時　令和元年 11 月 30 日（土）　8:00～14:30

〇場所　松浦市、佐世保市、平戸市、壱岐市、東彼杵町、川棚町、波佐見町、福岡県中間市、長崎県庁

〇実施内容：

- 原子力防災訓練は平成 14 年度から毎年度実施（１８回目）
- ２９年度は、国と３県合同であったが、今年度は３県の想定を合わせた単独訓練（ただし、３県合同テレビ会議の訓練を連携実施）

（
- 平成 14 年度～平成 22 年度　（避難対象範囲：10km）
- 平成 23 年度　（避難対象範囲：鷹島全域）
- 平成 24 年度～平成３０年度　（避難対象範囲：30km）

＜３県連携の避難訓練は、平成 25 年度から実施＞
）

２．訓練参加機関等

〇訓練参加機関　８３機関（H31　８８機関 ）

〇訓 練 参 加 者　約１，７００人（うち住民　約 700 人　）

（H31　約１，８００人（うち住民　約 700 人 ））

３．訓練の特徴

〇3 県及び九州電力と事象を揃え、災害対策本部の運営訓練、情報伝達訓練及び住民避難の実働訓練を連動して実施。

〇実働訓練はＵＰＺ圏外への住民避難や要支援者の避難及び離島での放射線防護施設への避難が主な訓練。

〇車両の避難に関し、車両用ゲート型モニターにより車両スクリーニングを実施。

〇避難経路の多重化を目的に、松浦鉄道を利用した避難。

※吉井中学校生徒避難訓練に使用。鉄道車両及び出発時刻については、訓練用（オリジナル）で実施。

◎エリアメールを活用し、住民へ情報伝達の多様化を実施（初）

◎ドローンによる映像送信訓練（初）

４．主な訓練箇所

〇災害対策本部

・長崎県災害対策本部　　県庁３階災害対策本部室

※知事出席　８：５５～１０：００

・長崎県現地災害対策本部　　県北振興局、壱岐市役所勝本庁舎

・関係市・町災害対策本部　　関係市役所・町役場

〇避難所（救護所）

・波佐見町体育センター（松浦市鷹島地区住民、鷹島中生徒）

※知事視察　１１：３０～１２：００

・川棚町勤労者体育センター（松浦市星鹿地区住民）（18 人）

・東彼杵町彼杵児童体育館（松浦市志佐地区住民）（87 人）

・佐世保市三川内地区公民館（佐世保市住民、吉井中生徒）（105 人）

・佐世保市相浦地区公民館（平戸市田平地区住民）（35 人）

・平戸中学校（平戸市大久保・大島・度島地区住民）（55 人）

・壱岐市勝本町ふれあいセンター「かざはや」（壱岐市住民、石田小児童）（８０人）

・中間市中央公民館　（壱岐市住民、広域避難）（40 人）

〇原子力災害対策避難施設（放射線防護施設）

・松浦市　鷹島・福島・黒島・青島・飛島（89 人）

・平戸市　大島・度島（65 人）

・壱岐市　大島・長島・原島（30 人）

５．訓練の主な内容

＜訓練想定＞

佐賀県内を震源として発生した地震により、長崎県内においても最大震度５弱が観測され関係機関は、警戒態勢を構築していたところ、通常運転中の九州電力株式会社玄海原子力発電所４号機において、原子炉冷却材の漏えいが発生したため、緊急負荷降下後、原子炉を手動停止した。

原子炉停止後、非常用炉心冷却系が作動したが、全交流動力電源が失

われる事象などが発生し、炉心を冷却する全ての機能を喪失し、全面緊急事態となる。

事故の進展（放射性物質の放出を含む）に応じ、県、関係市町及び関係機関は国と連携して、地域防災計画等に基づく諸対策を実施する。

＜訓練項目＞

（１）情報収集伝達訓練
（２）災害対策本部の設置、運営訓練
（３）緊急時モニタリング訓練
（４）原子力災害医療訓練
（５）住民避難・誘導並びに広報訓練
（６）航空機（ヘリ）による人員搬送及び情報収集訓練

６．訓練進行

〇ＰＡＺ及びＰＡＺに準じた地区（鷹島町）の避難

原災法 10 条（8:30）　→　要支援者避難

原災法１５条（9:00）9:10 避難指示　→　住民避難

〇緊急時モニタリングによるＯＩＬ２を越える（10:20）地域の避難指示及び避難（※　関係４市で避難指示が出されたものと想定。）

７．避難訓練（実動）箇所

（１）松浦市鷹島地区住民の避難訓練

・１３人（自家用車）、１５人（バス）

鷹島スポーツ文化交流センター ⇒ 波佐見町体育センター

（※到着後、陸自による炊き出し）

（２）松浦市鷹島中学校生徒の避難訓練

・２８人（バス）

鷹島中学校⇒波佐見町体育センター

（※到着後、陸自による炊き出し）

（３）松浦市鷹島地区住民の避難訓練

・９人（放射線防護施設屋内退避）

（４）松浦市黒島地区住民の避難訓練

・20 人（放射線防護施設屋内退避）

（５）松浦市福島地区住民の避難訓練

・20 人（放射線防護施設屋内退避）

（６）松浦市青島地区住民の避難訓練
・20 人（放射線防護施設屋内退避）

（７）松浦市飛島地区住民の避難訓練
・20 人（放射線防護施設屋内退避）

（８）松浦市星鹿地区住民の避難訓練
・18 人（バス）
星鹿地区公民館　⇒　川棚町勤労者体育センター

（９）松浦市志佐地区住民の避難訓練
・87 人（バス）
志佐小・中学校　⇒　東彼杵町彼杵児童体育館

（１０）佐世保市江迎地区住民の避難訓練
・30 人（バス）
江迎地区文化会館　⇒　江迎支所　⇒　三川内地区公民館

（１１）佐世保市吉井地区住民の避難訓練
・30 人（バス）
吉井北小学校　⇒　吉井中学校　⇒　三川内地区公民館

（１２）佐世保市世知原地区住民の避難訓練
・30 人（バス）　世知原支所　⇒　三川内地区公民館

（１３）佐世保市吉井中学校生徒の避難訓練
・15 人（松浦鉄道※＋借上車）
吉井中学校～吉井駅～佐世保駅　⇒　三川内地区公民館

（１４）平戸市大島地区住民の避難訓練
・30 人（放射線防護施設屋内退避）
・　５人（海保船艇）　的山港～薄香港　⇒　平戸中学校

（15）平戸市度島地区住民の避難訓練
・35 人（放射線防護施設屋内退避）
・　５人（民間船）

度島漁港～薄香港　⇒　平戸中学校

（16）平戸市大久保地区住民の避難訓練
・36 人（自家用車）
自宅　⇒　平戸中学校

（17）平戸市大久保地区住民の避難訓練
・ ９人（海保船艇）
田助港～薄香港　⇒　平戸中学校

（１８）平戸市田平地区住民の避難訓練
・35 人（バス）
田平支所～道の駅　⇒　相浦地区公民館

（１９）壱岐市郷ノ浦地区住民の避難訓練
・20 人（バス）
初山小学校～壱岐の島ホール⇒　勝本町ふれあいセンター

（２０）壱岐市石田地区・芦辺地区住民の避難訓練
・２０人（バス）
石田町農村環境改善センター～田河小学校　⇒　勝本町ふれあいセンター

（２１）壱岐市石田小学校生徒の避難訓練
・40 人（バス）
壱岐市石田小学校　⇒　勝本町ふれあいセンター

（２２）壱岐市三島（大島、長島、原島）地区の避難訓練
・30 人（放射線防護施設屋内退避）(3 島×10 人)

（２３）壱岐市住民の広域避難訓練
・20 人（空自ヘリ）
蟐蛾島ヘリポート～空自芦屋基地　⇒　中間市中央公民館
・20 人（九州郵船ジェットフォイル）
郷ノ浦港～博多港　⇒　中間市中央公民館

（２４）要支援者（高齢者）の避難訓練

・２人（福祉車両）

平戸市田平町 特別養護老人ホーム「田平ホーム」

⇒　佐世保市江上町 特別養護老人ホーム「サンホーム江上」

（２５）要支援者（障害者）の避難訓練

・１０人（福祉車両）

佐世保市吉井町 障害者支援施設「潤心」

⇒　佐世保市赤木町 障害者支援施設「赤木学園」

（２６）要支援者（グループホーム）の避難訓練

・５人（福祉車両）

平戸市田平町 共同生活事業所「椿崎」

⇒　佐世保市潮見町「山澄地区公民館」

（２７）車両スクリーニング・除染訓練

・波佐見町体育センター、三川内地区公民館

※三川内地区では車両用ゲート型モニター